

南高☺図書館通信

さいたま市立浦和南高校図書館

2022年3月発行

Vol.3 ★ No.3

不定期発行

☆ 図書館からのお知らせや、図書館の活動・仕事をお伝えします ☆



まだまだ寒いですが暦の上ではもう春。すぐに新年度が始まります。早いですね！引き続き健康に注意しながら、春の訪れを楽しんでください。

春休みの図書館について

春休み中（3/25（金）～4/6（水））は図書館は休館です。新年度に元気な顔で会いましょう。春休み中の貸出冊数等は以下のとおりです。休み中はゆっくり本を読むチャンスです。気になる本がある人もそうでない人も、本を選びに図書館に来てください。

春休み中は休館

3/11（金）～3/24（木）の貸出 → 10冊 まで

返却日 → 4/7（木）



返し忘れの本はありませんか

年度末です。借りたまま返し忘れていた本はありませんか。返却が遅れている人には督促通知を出しますので、速やかに返却してください。再度借りたい場合は、本を持って図書館に手続きに来てください。気持ちよく新学年を迎えましょう。

BookStand（図書館報）を発行します

毎年年度末に、図書館報「BookStand」を発行して全校生徒に配付しています。図書委員によるおすすめ本の紹介や、図書委員の1年間の活動報告が掲載されます。皆さんに配られたら、是非中まで目を通してください。そして、来年度はあなたが図書委員になって、おすすめの本を教えてください。

感染症対策に引き続きご協力ください

図書館では以下のとおり感染症対策をしています。まだまだ油断できません。みんなが元気に過ごせるよう、引き続きご協力をお願いします。

- ・マスクを必ず着用してください。
- ・アルコール消毒液で手指を消毒してください。
- ・カウンターに飛沫防止プレートを設置しました。
- ・利用者カードはトレーで受け渡します。
- ・返却された本は表面をアルコールで拭き、翌日以降に棚に戻します。
- ・席やカウンターを消毒します。
- ・換気を行います。
- ・咳エチケットにご協力ください。



知ってる？

毎月23日は

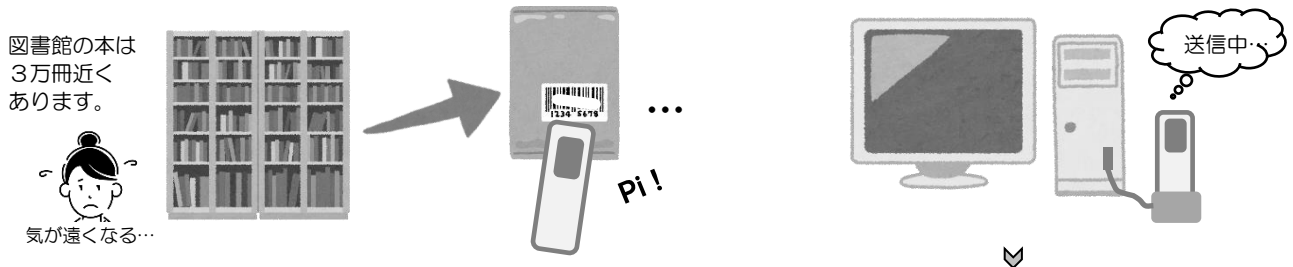
“さいたま市子ども読書の日”

子どもの読書活動の更なる推進のため、設けられました。4月23日の「子ども読書の日」に因んでいます。南高では、図書委員おすすめの本を紹介する発行紙「ザ・読書」を毎月23日に発行し、各クラスに配付しています。読書のきっかけにしてください。

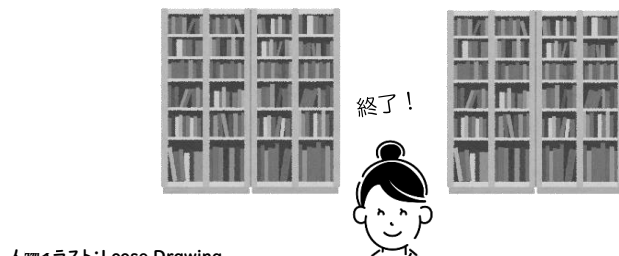
こんな仕事をしています ⑨ 蔵書点検

図書館の蔵書がデータどおりあるか調べるために、1年に1度「蔵書点検」を行っています。図書館にある全ての本のバーコードを機械で読み取ります。このとき貸出中ではないのに読み取りが行われなかったものは、行方不明になってしまったものということになります。図書館の本はみんなの財産なのできちんと管理します。皆さんも本を大切に扱ってくださいね。

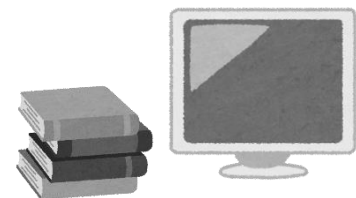
- ①本のバーコードをハンディターミナルで1冊ずつ読み取る。 ➤ ②読み取ったデータをパソコンへ送信する。



- ④点検結果が確定する。



- ③貸出中以外で読み取られていない図書がわかるので、棚に探しに行く。見つかったら読み取って②の作業。



みんなの本棚 ～絵本の世界～

絵本は好きですか？小さい頃に読んでもらったという人も多いかと思います。優れた絵本は誰もが触れることのできる、とても身近な芸術作品です。素晴らしい絵と物語の融合を、ゆっくり楽しんでみてはいかがでしょうか。

『にぐるまひいて』 ドナルド・ホール 文 バーバラ・クーニー 絵 もきかずこ 訳 ほるぷ出版

「10月 とうさんは にぐるまに うしをつないだ / それから うちじゅうみんなで / このいちねんかんに みんなが つくり そだてたものを / なにもかも にぐるまに つみこんだ」

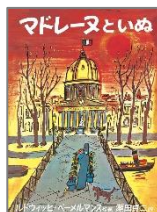
父親は何日もかけて遠い市場まで旅し、そこで持ち物をすべて売り、そのお金で家のためのもの、仕事をするためのものを買って戻ります。古き良きアメリカの1年の営み、巡る季節の風景が、美しく温かみのある画で描かれます。ゆったりとした詩的な文章が見事に溶け合った傑作です。

『マドレーヌといぬ』

ルドヴィッヒ・ベームルマンズ 作・画 瀬田貞二 訳 福音館書店

パリの古いお屋敷に暮らす12人の女の子たち。ある日散歩中に、一番のおちびのマドレーヌが川に落ちてしまいました。溺れかけたマドレーヌを助けたのは、どこからか現れた一匹の犬。みんなはこの犬を連れて帰り、ジュヌビエーブと名付けてかわいがります。

洗練された線が印象的な絵。パリの名所が作品の中に見られます。



『もりのなか』

マリー・ホール・エッツ 文・絵 まさきるりこ 訳 福音館書店

散歩にでかけた男の子が森の中で動物に出会います。ライオン、小象、熊…出会った動物たちはみんな男の子について行き、行列になって進んでいきます。静かな語り口、白黒で柔らかく描かれた世界に引き込まれます。

昔読んでもらいカラーの本だったと記憶する人がいるそうですが、それくらい子どもが入り込み、心に残る本ということなのでしょう。

